

# 一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/10/21現在

## 1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	日本トレンドセレクト（リバース・トレンド・オープン）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	日興アセットマネジメント
販売委託元	日興アセットマネジメント
金融商品の目的・機能	有価証券を組入れつつ株価指数先物取引を積極的に活用し、株式市場全体の動きと概ね反対の収益の変動を目指した運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	短期間の取引による売買差益の獲得を目的とし、大きく元本割れするリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品について、他の商品と比較した特長やメリットはありますか。
  - ② これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。
  - ③ この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。

## 2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<p>当ファンドは、主に株価指数先物取引にかかる権利および短期公社債を投資対象としますので、株価指数先物取引にかかる権利の価格変動、短期公社債の価格の下落や、短期公社債の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。</p> <p>主なリスクは以下の通りです。</p> <p>【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【デリバティブリスク】 【目標とする投資成果が達成できないリスク／投資方針通りの運用ができないリスク】</p> <p>※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。</p>
過去1年間の収益率	-19.8%（2024年7月末現在）
過去5年間の収益率	平均-14.7% 最低-39.4%（2021年3月）最高5.5%（2022年9月） （2019年8月～2024年7月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

- （質問）
- ④ 年間収益率がマイナスの年度が大半であり、かなりリスクの高い商品と言えるのでしょうか。
  - ⑤ 日経平均株価が下がると、ファンドの価格も上がると理解しておけばよいですか。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	2.20%	1.54%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.012%（税抜0.92%）	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用」に記載しています。

- （質問） ⑥ 信託報酬とはどのように支払われていますか。  
⑦ 信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	当ファンドの償還日は2030年1月11日です。ただし、期間更新や繰上償還することがあります。
解約時手数料	換金時の基準価額に対し0.3%（信託財産留保額）を換金時にご負担いただきます。
解約の制限事項	ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。

※ 詳細は、交付目論見書の「お申込みメモ」に記載しています。

- （質問） ⑧ 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。

### 5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	当社がお客様にこの商品を販売した場合、当社は、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、委託会社から年率0.44%（税込み）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

### 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	個人投資家の場合、分配時および換金時・償還時に、所得税および地方税がかかる場合があります。
-------	---

※ 詳細は、交付目論見書の「税金」に記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】  
（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>  
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
（URL②） <http://www.nikkoam.com/fund/detail/152021>  
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。  
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結にあたっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

日本トレンドセレクト（リバース・トレンド・オープン）

	<質問>	<回答例>
①	この商品について、他の商品と比較した特長やメリットはありますか。	通常の商品とは異なり、マーケット下落局面で収益を得ることができるため、お客様の運用ポートフォリオの一部に組み入れることで、リスクヘッジ手段とすることができます。
②	これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。	購入のタイミングを数回に分けて、今回より価格が上下に10%程度離れたら2回目の購入を行うなども分散効果が期待できる有効な方法と思います。
③	この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。	たしかにベンチマークとなる日経平均株価指数が下落することによって収益が上がることなど、通常の商品とは異なります。いくつかのリスク商品を保有しているお客様が、マーケット下落にそなえてポートフォリオの一部に組み入れることが適切と考えます。
④	年間収益率がマイナスの年度が大半であり、かなりリスクの高い商品と言えるのでしょうか。	たしかに、株価の上昇局面が続くと、本商品の運用成果はマイナス傾向が続きます。お客様の運用資産構成の中で一定比率に留めて、他資産へのリスクヘッジ目的で保有されることが適切と考えます。
⑤	日経平均株価が下がると、ファンドの価格も上がると理解しておけばよいですか。	基本的な商品性としてはそのとおりですが、正確には、株価指数先物取引の売建額などによって変動幅がある程度異なることもあります。
⑥	信託報酬とはどのように支払われていますか。	毎日の基準価額は、この信託報酬の日割り分が控除されて算出されてきます。例えば年1%でも、5年間保有されると5%となる点、ご注意ください。
⑦	信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。	運用期間中は運用管理費用（信託報酬）が差し引かれます。実際には日との基準価額はこの信託報酬の日割り分を控除後で算出されているため、ある一時点でまとめて差し引くことはしません。
⑧	繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。	ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。